

2020年4月12日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**

第63巻第1号(通算3178号)

教会設立 1959年6月14日

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131

主任担任教師・牛田 匡 牧師

担任教師・水谷 憲 牧師

隠退教師・小林 達夫 牧師

しゅうほう 週報

教会標語

かみさま ^{つく} 神様が創られたすべての ^{いのち} 命を
たいせつ ^{きょうかい} 大切にする教会

ホームページ「久宝教会」
(Website)



郵便振替：00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【集会案内】主日礼拝：毎日曜 10:30-11:30 【連絡先(牛田)】090-9161-4027 kyuho-church@koinonia.or.jp

子どもたちもいつでも歓迎します

何かお悩みがありましたら、ご遠慮なくご相談ください。

死は勝利に呑み込まれた。死よ、お前の勝利はどこにあるのか。
死よ、お前の棘はどこにあるのか。(コリントの信徒への手紙 I 15:54b-55)

イースターレいはい 復活日礼拝

《^{しんがた}新型コロナウイルスの^{かんせんかくだい}感染拡大により、^{みなあつ}皆で集まった^{れいはい}の礼拝は^{きゅうし}休止
いたします。それぞれの^{ばしょ}場所で^{れいはい}礼拝を^{こころ}心に^{おぼ}覚え^{いの}祈りを^あ合わせましょう》

ぜんそくもくとう
前奏 黙 禱

まねごとば
招きの詞 コリントの信徒への手紙 I 15章 54b-55節

きんびかばん きゅうこん なか
賛美歌 575番「球根の中には」

てんとうごとばさんび
点灯の詞と賛美 290番「おどり出る姿で」 司式者

せいしよ ふくいんしよ しやう
聖書 マタイによる福音書 28章 1-10節

きんびかばん しゅ ふつかつ
賛美歌 333番「主の復活、ハレルヤ」

ふつかつ
復活のリタニー みんな

きんびかばん ばん しゅ
賛美歌 331番「主はよみがえられた」

メッセージ 「すべての命を大切にする」 牛田 匡 牧師

きんびかばん ばん ひ
賛美歌 334番「よみがえりの日に」(1-5節)

いの
お祈り 司式者

きんびかばん ばん しゅ
賛美歌 43-3番「主よ、おいでください」(1節のみ)

しゅいの ばん てん ちち
主の祈り 62番「天にいます わたしたちの父」

けんきん ばん いま
献金 (*) 65-1番「今そなえる」

はけんごとば
派遣の詞

きんびかばん ばん ひ
賛美歌 334番「よみがえりの日に」(6節のみ)

しゅくふく
祝 福 牛田 匡 牧師

うそ ばん
後奏 アーメン コーラス (40-6番)

ほうこく ページ さんしやう
報告 (5頁をご参照ください)

* 「献金」は参加費ではありません。ご用意のある方のみお献げ下さい。

招きの詞 コリントの信徒への手紙Ⅰ 15章 54b-55節

54b 「死は勝利に呑み込まれた。⁵⁵死よ、お前の勝利はどこにあるのか。
死よ、お前の棘はどこにあるのか。」

点灯の詞と賛美

点灯者① イエスさまの生涯をたどりましょう。(1本目に点灯)

イエスさまは家畜小屋で生まれ、飼い葉桶に寝かされました。

賛美歌 290番「おどり出る姿で」1節

点灯者② イエスさまは、漁師のペトロさんに「網を捨てて私についてきなさい」と言われました。(2本目に点灯)

賛美歌 290番「おどり出る姿で」2節

点灯者③ イエスさまは、安息日に病気の人に手当てをされました。(3本目に点灯)

賛美歌 290番「おどり出る姿で」3節

点灯者④ イエスさまは、この世界の罪のために十字架に掛けられました。(4本目に点灯)

賛美歌 290番「おどり出る姿で」4節

点灯者⑤ イエスさまは、復活されました(5本目に点灯)

みんな アーメン

賛美歌 290番「おどり出る姿で」5節(6本目に点灯)

聖書 マタイによる福音書 28章 1-10節

¹さて、安息日が終わって、週の初めの日の明け方に、マグダラのマリアともう一人のマリアが、墓を見に行った。²すると、大きな地震が起こった。主の天使が天から降って近寄り、石を転がして、その上に座ったからである。³その姿は稲妻のように輝き、衣は雪のように白かった。⁴見張りの者たちは、恐ろしさのあまり震え上がり、死人のようになった。⁵天使は女たちに言った。「恐れることはない。十字架につけられたイエスを捜しているのだろうが、⁶あの方は、ここにはおられない。かねて言われていたとおり、復活なさったのだ。さあ、遺体の置いてあった場所を見なさい。⁷それから、急いで行って弟子たちにこう告げなさい。『あの方は死者の中から復活された。そして、あなたがたより先にガリラヤに行かれる。そこでお目にかかれる。』あなたがたにこれを伝えます。」⁸女たちは、恐れながらも大喜びで、急いで墓を立ち去り、弟子たちに知らせるために走って行った。⁹すると、イエスが行く手に立っていて、「おはよう」と言われたので、女たちは近寄り、イエスの足を抱き、その前にひれ伏した。¹⁰イエスは言われた。「恐れることはない。行って、きょうだいたちにガリラヤへ行くように告げなさい。そこで私に会えるだろう。」

復活のリタニー

司式者

ハレルヤ！ 主はよみがえられました。

みんな

ハレルヤ！ ほんとうに主はよみがえられました。

司式者

神さまは、わたしたちを悲しみの中に放っておかれませんか。

みんな

もう泣かなくていいよ、と言ってくださいます。

司式者

神さまは、わたしたちを絶望の中に捨て置かれませんか。

みんな

希望を持ちなさい、と言ってくださいます。

司式者

神さまは、イエスさまをお墓の中に閉じ込めて、それでおしまいに
されませんか。

みんな

新しい生命によみがえらせ、

おしまいでないことを示されます。

司式者

ハレルヤ！ イエスさまは生きておられます。

みんな

ハレルヤ！ 神さまは今も働いておられます。

お祈り

神さま、新型コロナウイルスという新しい病気が拡がりつつあるこの頃ですが、そのような中であっても、今年もまたイエスさまの復活を記念するイースターを迎えられましたことを、ありがとうございます。

イエスさまは十字架にかけられる前、「あなたがたはもう私を見なくなるが、またしばらくすると私を見るようになる」とおっしゃったのに、お弟子さんたちは、復活なさったイエスさまに気づきませんでした。

気づかなかったお弟子さんたちの中に私たちもいます。お弟子さんたちが旅をしていたり、食事をしていたりしたときに、イエスさまが現れてくださったことを思い起こします。私たちの日々の生活の中でもイエスさまと出会えますように。主よ、おいでください。アーメン。

派遣の詞

司式者

イエスさまは言われました。「あなたがたに新しい戒めを与える。互いに愛し合いなさい。私があなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。互いに愛し合うならば、それによってあなたがたが私の弟子であることを、皆が知るであろう」

主は言われます。「私は誰を遣わすべきか」

みんな

わたしがここにおります。わたしをつかわしてください。

司式者

キリストの平和の使者として、行きなさい。

(参照：「子どもといっしょにイースター」『礼拝と音楽』臨時増刊 2001 年, 61-64 頁。
『みんなて歌おうこどもさんびか改訂版ガイド』2005, 32-33 頁)

《先週の礼拝より》4月5日 棕^{しゅろ}梔の主日（受難節第6主日）礼拝

ドラマティック・リーディング（朗読劇）「受難週のお話」より

（マルコ 11：1-11a、ヨハネ 13：1-5、1コリント 11：23-26、マルコ 14：26, 32-42）

イエス様が十字架につけられた最後の1週間に起こった出来事。

日曜日。イエス様はお弟子さんたちと一緒に、イスラエルの中心地、エルサレムの町にやって来られました。イエス様は、平和のしるしとして、ロバに乗って町に入られました。それを見たたくさんの人々は、しゅろの葉を手に持ち、打ち振りながら、イエス様を喜び迎えました。

月曜日。イエス様は神殿にやって来られました。イエス様は、そこで商売をしている人々を見て、「ここはすべての国の人の祈りの家である」と言って、売り買いしている人々を追い出されました。イエス様を嫌っていた人々は、これを聞いて、なおさらひどくイエス様を憎むようになりました。

火曜日。イエス様はエルサレムの神殿で、たくさんの人々に神様のことを教えました。その時、一人の学者がイエス様にこう尋ねました。「イエス様、一番大切なことは何ですか？」 イエス様はお答えになりました。「一番大切なことはこれである。心を尽くしてあなたの神である主を愛しなさい。また、隣り人を自分のように愛しなさい。」

水曜日。イエス様はシモンという人の家におられました。その時、一人の女の人がそこにやって来て、とても高価な香油をイエス様の頭に注ぎかけました。家の中に、とても良い香りが満ちあふれました。すると、イエス様は、お弟子さんたちに向かって、こうお話になりました。「この人は前もって、私のお葬式の準備をしてくれたのだ。はっきり言っておく。これから後、どこであっても、この女の人のしたことは私の記念として語り伝えられるだろう。」

木曜日の晩。食事を終えたイエス様と弟子たちは、オリーブ山という小さな山に登り、ゲツセマネという所にやって来られました。イエス様が祈っておられた時、イエス様を裏切った弟子のユダが、大勢の人々と一緒に、イエス様を捕らえるためにやって来ました。弟子たちは皆、逃げ出してしまいました。そして、イエス様は捕らえられ、その晩遅くに、裁判にかけられました。

金曜日。ローマ総督のピラトは、イエス様を死刑に決めました。イエス様は頭に茨の冠をかぶせられ、ゴルゴタの丘という所で、十字架に架けられました。そして3時頃、イエス様は息を引き取られました。イエス様のお体は、十字架から取り降ろされ、お墓の中に納められました。

土曜日。この日、イエス様のお体は、一日中、暗いお墓の中に横たえられていました。イエス様は死にました。

レントの最後の週、受難週の日一日は、このようにして過ぎていきました。アーメン。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 (4月5日)

礼拝出席 大人1名 献金 1,000円 感謝

新型コロナウイルスの感染拡大予防のために、大阪府下には3月末の週末に引き続き、外出の自粛要請が出されました。私たち自身が感染しないためだけでなく、自覚症状がないまま既に感染しているかもしれない私たちが、更に抵抗力の弱い方々に感染させないため、また治療や看護に当たっている医療現場を守り、これ以上崩壊させないようにするために、皆で集まったの礼拝は休止いたしました。ご希望の方にはメッセージ原稿をお渡しいたしますので、ご遠慮なくお申し出ください。

◎次週 2020/4/19 復活節第2主日礼拝 (皆で集まったの礼拝は休止いたします)

招きの詞 詩編 118編 22-24節

聖書 ヨハネによる福音書 20章 19-31節

メッセージ「あなたがたに平和があるように」 牛田匡牧師

賛美歌 325番 197番 326番 (いずれも『讚美歌21』)

◎ お知らせ

- ・新型コロナウイルスの感染拡大により、4月7日より大阪府に「緊急事態宣言」が発令され、外出の自粛が要請されています。また八尾市により久宝まぶねこども園も休園となっています。役員会で相談した結果、緊急事態宣言が発令されている間は、皆で集まったの礼拝は休止いたします。それは新型コロナウイルスに私たち自身が感染しないためだけでなく、自覚症状がないまま既に感染しているかもしれない私たちが、更に抵抗力の弱い方々に感染させないためであり、また治療や看護に当たっている医療現場を守り、これ以上崩壊させないようにするためでもあり、それが「神様が創られたすべての命を大切に」するためであると考えからです。毎週「週報」「メッセージ」等は発行いたしますが、最新情報は、ウェブサイト、Facebook、LINE公式アカウント等をご確認ください。
- ・毎月第4日曜日に行って来ている釜ヶ崎・いこい食堂への「おにぎり支援」も、緊急事態宣言下で外出の自粛要請が出されているために、4月26日は休止いたします。

◎ 公告

4月19日の礼拝後に予定しておりました「2020年度定期教会総会」は、来月に礼拝・集会が再開されてから行います(現在の所、5月10日に役員会を行い、その翌週5月17日に総会を開催する予定)。議案は、これまでに公告した通りです。教会員の方で、欠席される場合は、委任状を提出ください。

◎ 次週以降の行事予定・礼拝奉仕 (*5/3までは皆で集まったの礼拝は休止いたします)

	会場	司式	奏楽	メッセージ	行事
4/19	久宝寺地区 久宝まぶねこども園 (新園舎・教会堂)	—	—	牛田牧師	
4/26		—	—	岡嶋伝道師 (向島伝道所)	(第二好意の庭感謝祝福式・牛田牧師)
5/3		—	—	牛田牧師	
5/10				水谷牧師	家族の日・役員会
5/17				牛田牧師	定期教会総会